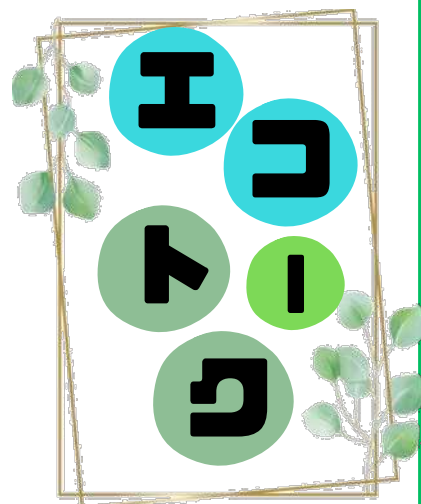


宇美町



(2021年広報7月号)



今号がお手元に届く7月中旬頃にはコロナ禍終息の目処が立っているでしょうか？全国で75歳以上の方たちからコロナワクチンの接種が始まり、『宇美町方式』が接種効率改善の有効策として報道され、大阪某市でも採用されるなど注目されました。

コロナ禍にあって度々耳にするのが『免疫力』です。交感神経や副交感神経の働きが免疫力に大きな影響を及ぼすことが知られるようになってきました。

これから1年で一番暑い時期となりますが、エアコンで極端に冷やした部屋を頻繁に出入りするなど温度差が大きな環境下にあると交感神経や副交感神経が疲れてしまい、体温調節などが適切にできなくなったりします。

半世紀前くらいは、7月末から8月初旬頃に30℃を超える日があり、お盆の頃には朝晩少しひんやりと感じていましたが、近年は天気予報で「今日の予想最高気温は30℃くらいです」と聞くと「今日は割と涼しいっちゃん」と思うくらいです。

このままの気温上昇率が続くと、今世紀末には生物全般が地球上で生活しづらくなるのが世界の共通認識となっており、環境問題を協議する場所や機会が増えたのはご存じだと思います。

日本は2050年にはCO₂削減目標を80%にするつもりでしたが、国際会議で「具体策が不十分」と非難されています。今春『地球温暖化対策推進法(温対法)』が改正され、2050年までに温室効果ガスを実質0とする目標が盛り込まれました。日本で削減目標が法律に明記されるのは初めてです。

今年の11月に英国で開催される国連気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)ではさらに厳しい現況が発表されるのではないでしょう。地球温暖化の問題は50年・100年後に暮らす私たちの子どもや孫たちのことを考えてのことと決して他人事ではありません。今を生きる私たちの思いと行いが問われているのです。

文責 福岡県地球温暖化防止活動

推進員 竹吉 栄隆